



2025年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月14日

上場会社名 株式会社 朝日ラバー
コード番号 5162 URL <https://www.asahi-rubber.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 陽一郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 久保田 敬之
定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 2025年6月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 048-650-6051

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	7,639	6.4	2	98.5	31	84.0	236	—
2024年3月期	7,180	0.3	156	15.5	195	0.1	133	34.1

(注) 包括利益 2025年3月期 71百万円 (—％) 2024年3月期 226百万円 (25.6％)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年3月期	51.74	—	4.8	0.3	0.0
2024年3月期	29.38	—	2.7	2.1	2.2

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 —百万円 2024年3月期 —百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	9,299	4,880	52.5	1,069.60
2024年3月期	9,414	5,042	53.6	1,105.64

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,880百万円 2024年3月期 5,042百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	482	746	37	1,205
2024年3月期	641	71	239	1,386

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	91	68.1	1.8
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	91	38.7	1.8
2026年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		85.3	

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	3,844	4.0	98	—	102	—	70	—	15.34
通期	7,643	0.0	160	—	159	409.8	107	—	23.45

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2025年3月期	4,618,520 株	2024年3月期	4,618,520 株
2025年3月期	55,645 株	2024年3月期	58,129 株
2025年3月期	4,562,047 株	2024年3月期	4,554,384 株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日 ~ 2025年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	6,650	5.3	108	—	31	—	253	—
2024年3月期	6,316	1.4	59	25.6	132	35.1	91	24.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	55.49	—
2024年3月期	20.18	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	8,054	3,797	47.1	832.23
2024年3月期	8,346	4,133	49.5	906.31

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,797百万円 2024年3月期 4,133百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(関連当事者情報)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

（1）経営成績に関する分析

当社グループは「私たちは人を豊かにしてグローバル社会貢献度が高い技術会社になる」ことを目指し、2030年を見据えた「AR-2030VISION」を掲げています。当連結会計年度は、「AR-2030VISION」の実現に向けて2023年4月からスタートした第14次三ヵ年中期経営計画の2年目となり、「魅力を高め、新たな価値を提供する」を経営方針に、重点事業である光学事業、医療・ライフサイエンス事業、機能事業、通信事業のさらなる成長に注力しました。

当連結会計年度における事業環境は、世界的なインフレや円安による資源価格や物価上昇、米中関係の緊張継続や中国経済の減速など、先行き不透明感が残る厳しい事業環境が続きました。こうした状況下においても企業価値の向上を求めて、医療・ライフサイエンス事業では第二の柱への成長を促す商社機能を持った新たな販売子会社を設立しました。機能事業、通信事業においても大学や関係各社との連携により、ゴムの柔軟性や防塵・防水性などを生かしたデバイスを販売するなど、お客様一人ひとりに寄り添った販売活動を展開することで新たな市場を開拓しました。国内工場では将来の事業体制を見据え、内外作政策、合理化投資、新たな生産体制の構築を進め、お客様へのより良い製品・サービス提供のための施策を積極的に展開しました。

この結果、当連結会計年度の業績は、連結売上高は工業用ゴム事業、医療衛生用ゴム事業とも販売が増加したことから連結売上高は76億3千9百万円（前年同期比6.4%増）となりました。一方、利益面においては上期までの開発製品の立上げに係る労務費・経費、生産性合理化につながる設備投資に係るコストの計上等により、連結営業利益は2百万円（前年同期比98.5%減）、連結経常利益は3千1百万円（前年同期比84.0%減）、工業用ゴム事業において、光学事業の内装照明用のASA COLOR LEDの事業環境や今後の業績等を勘案し、将来の回収可能性を精査した結果、減損処理が適当であると判断し減損損失を特別損失に計上、法人税等調整額（益）7千万円計上がありました。親会社株主に帰属する当期純損失は2億3千6百万円（前年同期は当期純利益1億3千3百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、自動車向け製品の受注は、当社採用車種の販売低迷により内装照明用のASA COLOR LEDの受注は減少しましたが、機能事業の精密用ゴム製品は新規受注の拡大により売上高が増加しました。また、卓球ラケット用ラバーも前連結会計年度から受注増加傾向が続き売上高は増加しました。一方、RFIDタグ用ゴム製品は、経済環境や生産調整影響により売上高が減少しました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は58億7千4百万円（前年同期比4.1%増）となりました。セグメント利益は上期までの機能性ゴム製品の開発製品の立上げに関するコスト、生産性合理化につながる設備投資に係るコストの計上等により、1億1千4百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、引き続き診断・治療向けの採血用・薬液混注用ゴム栓や医療用逆止弁、医療シミュレーターなどの受注が増加しました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は17億6千4百万円（前年同期比15.0%増）となりました。セグメント利益は1億7千4百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

（中長期的な経営戦略と目標とする経営指標）

当社は、2030年を見据えたビジョンを「AR-2030 VISION」として定め、その行動指針は、「ステークホルダー・エンゲージメントを高める」としています。会社は社会のためにあること、また持続的に社会の責任を果たして社会に貢献できる企業であり続けることを常に考えていきます。そして私たちを取り巻くすべてのステークホルダーとの対話を通じて、企業価値を高めてまいります。

この「AR-2030 VISION」の実現に向けて、2023年4月～2026年3月の三ヵ年をどのように取り組んでいくかを第14次三ヵ年中期経営計画として取りまとめ、テーマを「後継」と「Well-being」としました。中期基本方針は、「魅力を高めて新たな価値を提供しよう」としています。中期経営戦略は、①事業活動の深化・進化・新化、②スマートファクトリーの実践、③Well-beingを高める、④地域社会貢献として、ESG経営を進化させ、4事業が新たな施策を持って2030年またその先の将来に向かって「新しいカタチ」に挑戦するステージに入ります。これまで以上に柔軟かつ好奇心旺盛な思考で行動し、事業活動を通じて様々な方々と一緒に未来につながるカタチをつくっていききたいと考えています。

2026年3月期はこの第14次三ヵ年中期経営計画の最終年度となります。グローバルな経済・市場環境は大きく変化しており、先行きの不透明感も増してきています。このような状況下でも当社グループは立ち止まって様子を伺うのではなく、私たちの活躍する足場をしっかりと固めて、稼働力を高めていくため「選択と集中で駆け抜ける・駆け上がる」をスローガンに掲げて取り組んでまいります。

当社グループの存在価値は、独自の技術を活かした付加価値の提供による製品開発で市場に貢献することです。継

続した要素技術の深掘りとこれまでの製品の製造だけの委託を受けるOEMから、自社で設計や開発も行うODMに移行させていくことで、より付加価値を向上させ、稼ぐ力を高めることになると考えています。そのために、2025年4月から技術本部を設立し、分散していた技術の知識や権限を集中して整理し、効果的に運用し、早く確実に成果を挙げていける体制を整えました。ますます高度化する市場や顧客の要求に「機動力・対応力・誠実」に象徴する「朝日ラバーらしさ」を磨いて、光学、医療・ライフサイエンス、機能、通信の4つの事業分野で貢献してまいります。

私たちは、「個性を尊重し特徴ある企業に高めよう。豊かな人間関係、生活の向上を目指し社会に奉仕しよう。」という当社の社訓を心に刻み、当社を取り巻くステークホルダーの皆様との対話を通じて、さらに次の世代へとつなげていきます。

業績目標は、連結売上高85億円以上、連結営業利益率5%以上といたしました。

(次期への見通し)

次期連結会計年度は第14次三カ年中期経営計画の最終年度となります。地政学リスクの継続や米国によるグローバルな通商政策の影響など不透明な事業環境は続きますが、新しい社会の形成に向けて大きく前進することが想定されます。この中で当社グループは、新たな技術体制を構築して事業が貢献できる機会を増やすとともに、重点事業の開発製品の市場投入を進めてまいります。そして持続可能な社会の実現に貢献する事業基盤の構築を目指し、これからも当社独自の技術を応用して市場のニーズに応える製品づくりに積極的な投資を進めてまいります。

工業用ゴム事業では、自動車関連向け精密用ゴム製品、卓球ラケット用ラバー受注拡大により売上増を見込みます。引き続き合理化投資、新たな生産体制の構築を進め、お客様へのより良い製品・サービス提供のための施策を積極的に展開してまいります。

医療・衛生用ゴム事業では、診断・治療向けの採血用・薬液混注用ゴム栓や医療用逆止弁、医療シミュレータの受注増加を見込みます。

これらを受けた次期連結業績見通しにつきましては、連結売上高76億4千3百万円（前期比0.0%増）、利益面は連結営業利益1億6千万円（前期は営業利益2百万円）、連結経常利益1億5千9百万円（前期比409.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億7百万円（前期は当期純損失2億3千6百万円）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

(資産の状況)

当連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べて1億1千5百万円減少し、92億9千9百万円となりました。この主な減少要因は、流動資産のその他、機械装置及び運搬具、繰延税金資産が増加したものの、現金及び預金、電子記録債権が減少したものであります。

(負債の状況)

当連結会計年度末の負債は前連結会計年度末に比べて4千6百万円増加し、44億1千8百万円となりました。この主な増加要因は、電子記録債務、一年内返済予定の長期借入金、長期借入金が減少したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金、流動負債のその他が増加したものであります。

(純資産の状況)

当連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末に比べて1億6千1百万円減少し、48億8千万円となりました。この主な減少要因は、為替換算調整勘定、退職給付に係る調整累計額が増加したものの、当連結会計年度の損失計上に伴う利益剰余金が減少したものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度に比べ1億8千1百万円減少の12億5百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、4億8千2百万円の収入（前期は6億4千1百万円の収入）となりました。

これは主に、税金等調整前当期純損失2億7千2百万円（前期は1億6千2百万円の利益）、仕入債務の減少額1億1千万円（前期は9百万円の減少）等があったものの、減価償却費5億1千3百万円（前期は4億3千3百万円）、棚卸資産の減少8千4百万円（前期は5千5百万円の減少）、減損損失2億8千8百万円（前期は3千8百万円）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億4千6百万円の支出（前期は7千1百万円の収入）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入10億3千1百万円（前期は12億2千7百万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出8億8千7百万円（前期は10億2千5百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出9億2千8百万円（前期は4億3千7百万円の支出）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3千7百万円の収入（前期は2億3千9百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出16億円（前期は12億円の支出）、長期借入金の返済による支出7億6千6百万円（前期は8億4千7百万円の支出）、配当金の支払額9千1百万円（前期は9千万円の支払）があったものの、短期借入れによる収入21億円（前期は15億円の収入）、長期借入れによる収入4億円（前期は4億円の収入）によるものであります。

また、当社グループでは各事業の受注状況に基づき、生産能力を検討し設備投資を実施、また新たな事業分野への研究開発投資を積極的に実施しております。その必要資金については財政状態の良化を鑑みながら、主に売上代金及び金融機関からの借入金による調達を基本としております。

なお、当連結会計年度末における借入金及びリース債務を含む有利子負債の残高は19億1千8百万円となっております。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	52.1	53.6	52.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	26.1	27.0	27.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.4	2.7	4.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	60.4	90.0	50.5

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3 自己株式の株式数には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式が含まれております。

4 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

剰余金の配当につきましては、経営基本方針のもと、株主資本の充実と長期的な収益力の維持・向上、業績に裏付けられた安定的な配当の継続を原則としております。

なお、内部留保資金は、事業の拡大や、今後予想される技術革新への対応並びに競争力強化のための設備投資に充てることにより、継続的な業績の向上、財務体質の強化を図ってまいります。

なお、期末配当は、2025年3月31日現在の株主に対し、1株につき10円を配当する案を第55回定時株主総会に付議する予定です。次期の配当につきましては、2026年3月期の業績予想を鑑み、中間配当10円、期末配当10円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,282,039	1,968,019
受取手形	32,609	34,851
売掛金	1,586,851	1,615,659
電子記録債権	340,100	283,258
商品及び製品	458,506	412,609
仕掛品	413,661	416,620
原材料及び貯蔵品	234,454	211,498
その他	71,742	132,930
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	5,418,466	5,073,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,084,692	1,094,545
機械装置及び運搬具（純額）	1,192,088	1,322,999
土地	864,643	827,533
リース資産（純額）	4,529	26,804
その他（純額）	154,393	214,464
有形固定資産合計	3,300,347	3,486,347
無形固定資産	57,590	41,799
投資その他の資産		
投資有価証券	184,518	198,256
繰延税金資産	316,243	358,124
その他	137,618	139,511
貸倒引当金	△440	△440
投資その他の資産合計	637,940	695,452
固定資産合計	3,995,878	4,223,598
繰延資産		
開業費	—	1,465
繰延資産合計	—	1,465
資産合計	9,414,344	9,299,013

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	299,019	334,798
電子記録債務	597,699	453,016
短期借入金	300,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	703,485	500,896
リース債務	1,196	6,479
未払法人税等	17,033	17,127
偶発損失引当金	40,532	34,513
その他	652,876	693,846
流動負債合計	2,611,842	2,840,677
固定負債		
長期借入金	751,780	587,548
リース債務	3,751	23,326
役員株式給付引当金	5,820	11,205
退職給付に係る負債	988,279	945,104
その他	10,709	10,709
固定負債合計	1,760,340	1,577,892
負債合計	4,372,183	4,418,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	462,350	462,350
利益剰余金	3,745,400	3,417,496
自己株式	△35,064	△33,646
株主資本合計	4,689,556	4,363,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91,800	99,709
為替換算調整勘定	199,225	303,336
退職給付に係る調整累計額	61,579	114,327
その他の包括利益累計額合計	352,604	517,373
純資産合計	5,042,161	4,880,443
負債純資産合計	9,414,344	9,299,013

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	7,180,882	7,639,596
売上原価	5,502,377	6,034,419
売上総利益	1,678,505	1,605,177
販売費及び一般管理費	1,522,082	1,602,895
営業利益	156,422	2,282
営業外収益		
受取利息	1,171	3,133
受取配当金	5,290	5,037
補助金収入	19,590	28,628
雑収入	26,472	17,005
営業外収益合計	52,525	53,804
営業外費用		
支払利息	6,745	9,565
為替差損	3,508	8,028
雑支出	3,609	7,305
営業外費用合計	13,863	24,899
経常利益	195,084	31,187
特別利益		
固定資産売却益	131	145
投資有価証券売却益	56,930	—
補助金収入	25,579	7,207
受取保険金	—	32,100
特別利益合計	82,641	39,453
特別損失		
固定資産売却損	80	1,063
固定資産除却損	7,198	17,899
固定資産圧縮損	16,454	3,363
減損損失	38,096	288,329
投資有価証券売却損	10,529	—
偶発損失引当金繰入額	40,532	32,119
その他	2,421	—
特別損失合計	115,312	342,775
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	162,412	△272,134
法人税、住民税及び事業税	32,409	34,066
法人税等調整額	△3,821	△70,163
法人税等合計	28,587	△36,096
当期純利益又は当期純損失(△)	133,825	△236,037
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	133,825	△236,037

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	133,825	△236,037
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,454	7,909
為替換算調整勘定	43,131	104,110
退職給付に係る調整額	32,504	52,748
その他の包括利益合計	93,090	164,768
包括利益	226,915	△71,268
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	226,915	△71,268

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	516,870	465,112	3,703,163	△54,801	4,630,344
当期変動額					
剰余金の配当			△91,587		△91,587
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			133,825		133,825
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		△2,762		19,737	16,975
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△2,762	42,237	19,737	59,212
当期末残高	516,870	462,350	3,745,400	△35,064	4,689,556

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	74,345	156,094	29,074	259,514	4,889,858
当期変動額					
剰余金の配当					△91,587
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△)					133,825
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					16,975
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	17,454	43,131	32,504	93,090	93,090
当期変動額合計	17,454	43,131	32,504	93,090	152,302
当期末残高	91,800	199,225	61,579	352,604	5,042,161

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	516,870	462,350	3,745,400	△35,064	4,689,556
当期変動額					
剰余金の配当			△91,866		△91,866
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△236,037		△236,037
自己株式の処分				1,417	1,417
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	—	△327,904	1,417	△326,486
当期末残高	516,870	462,350	3,417,496	△33,646	4,363,069

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	91,800	199,225	61,579	352,604	5,042,161
当期変動額					
剰余金の配当					△91,866
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）					△236,037
自己株式の処分					1,417
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	7,909	104,110	52,748	164,768	164,768
当期変動額合計	7,909	104,110	52,748	164,768	△161,718
当期末残高	99,709	303,336	114,327	517,373	4,880,443

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	162,412	△272,134
減価償却費	433,075	513,430
減損損失	38,096	288,329
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36	-
偶発損失引当金の増減額(△は減少)	40,532	△6,018
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	54,620	28,405
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	5,830	6,801
受取利息及び受取配当金	△6,462	△8,171
支払利息	6,745	9,565
有形固定資産売却損益(△は益)	△50	917
有形固定資産除却損	7,198	17,899
固定資産圧縮損	16,454	3,363
投資有価証券売却損益(△は益)	△46,400	-
補助金収入	△45,169	△34,992
売上債権の増減額(△は増加)	△72,604	50,937
棚卸資産の増減額(△は増加)	55,871	84,027
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,688	△110,672
その他	△6,909	△70,746
小計	633,515	500,944
利息及び配当金の受取額	5,928	7,564
補助金の受取額	45,169	34,992
利息の支払額	△7,128	△9,613
法人税等の支払額	△36,074	△51,249
営業活動によるキャッシュ・フロー	641,410	482,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,025,350	△887,300
定期預金の払戻による収入	1,227,277	1,031,650
有形固定資産の取得による支出	△437,699	△928,252
有形固定資産の売却による収入	3,659	43,849
無形固定資産の取得による支出	△12,547	△3,052
投資有価証券の売却による収入	274,584	-
投資有価証券の取得による支出	△1,262	△1,246
その他	42,702	△2,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	71,364	△746,850
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,500,000	2,100,000
短期借入金返済による支出	△1,200,000	△1,600,000
長期借入れによる収入	400,000	400,000
長期借入金返済による支出	△847,533	△766,821
配当金の支払額	△90,880	△91,576
その他	△1,347	△3,806
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,760	37,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,421	45,396
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	495,435	△181,019
現金及び現金同等物の期首残高	890,903	1,386,339
現金及び現金同等物の期末残高	1,386,339	1,205,319

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2018年8月より業績連動型株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、原則として、当社が掲げる中期経営計画の対象となる連続する3事業年度を対象として、役位及び業績目標の達成度等に応じて、当社株式の交付を行う制度です。

また、本制度は、役位に応じてポイントが付与される「固定部分」と、業績目標の達成度に応じてポイントが付与される「業績連動部分」により構成されます。「固定部分」は株主の皆様との利害共有の強化を、「業績連動部分」は中長期的な業績の向上と企業価値の増大に対する動機付け及び報酬と業績との連動性の強化を主な目的としております。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末18,802千円、32,952株、当連結会計年度末17,385千円、30,468株であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業活動の執行を国内4つの工場と営業・生産・管理の3つの本部で行っており、製品の種類別に各工場・本部間及び国内外関係会社が連携し、生産・販売活動を国内及び海外を含めて展開しております。

したがって、当社グループは、製品の種類別のセグメントから構成されており、「工業用ゴム事業」、「医療・衛生用ゴム事業」の2つを報告セグメントとしております。

「工業用ゴム事業」は、主に車載用機器、携帯用通信機器、電子・電気機器、産業機器、スポーツ用品等に使用されるゴム製品であります。「医療・衛生用ゴム事業」は、医療用ゴム製品及び衛生性、衝撃吸収性に優れたゴム製品であります。

2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報
前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
日本	4,183,633	1,119,246	5,302,880
アジア	1,334,125	414,233	1,748,358
北米	108,093	191	108,285
ヨーロッパ	19,601	1,757	21,358
その他	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	5,645,453	1,535,428	7,180,882
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,645,453	1,535,428	7,180,882
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,645,453	1,535,428	7,180,882
セグメント利益	304,862	120,176	425,038
セグメント資産	5,278,043	1,774,900	7,052,943
その他の項目			
減価償却費	303,128	119,617	422,745
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	298,729	127,417	426,147

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	合計
売上高			
日本	4,525,829	1,299,364	5,825,194
アジア	1,228,425	464,196	1,692,621
北米	92,512	—	92,512
ヨーロッパ	27,844	1,424	29,268
その他	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	5,874,611	1,764,985	7,639,596
その他収益	—	—	—
外部顧客への売上高	5,874,611	1,764,985	7,639,596
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,874,611	1,764,985	7,639,596
セグメント利益	114,810	174,553	289,364
セグメント資産	5,569,302	1,852,523	7,421,826
その他の項目			
減価償却費	379,264	122,775	502,039
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	933,366	103,856	1,037,223

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	前連結会計年度（千円）	当連結会計年度（千円）
報告セグメント計	425,038	289,364
全社費用（注）	△268,616	△287,082
連結財務諸表の営業利益	156,422	2,282

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

資産	前連結会計年度（千円）	当連結会計年度（千円）
報告セグメント計	7,052,943	7,421,876
全社資産（注）	2,361,400	1,877,187
連結財務諸表の資産合計	9,414,344	9,299,013

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の運転資金（現金及び預金、有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。

その他の項目	報告セグメント計（千円）		調整額（千円）		連結財務諸表計上額（千円）	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	422,745	502,039	10,329	11,390	433,075	513,430
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	426,147	1,037,223	15,292	4,268	441,439	1,041,491

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に基礎的研究にかかる設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	全社・消去	合計
減損損失	38,096	—	—	38,096

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	工業用ゴム事業	医療・衛生用ゴム事業	全社・消去	合計
減損損失	285,028	—	3,300	288,329

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	1,105.64	1,069.60
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)(円)	29.38	△51.74

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。(前連結会計年度32千株、当連結会計年度30千株)
 また、「1株当たり当期純利益金額」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前連結会計年度29千株、当連結会計年度31千株)

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	133,825	△236,037
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	133,825	△236,037
期中平均株式数(千株)	4,554	4,562

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

該当事項はありません。